

学校目標・経営方針	学校の教育力、組織力のさらなる向上を図りながら、知・徳・体の調和のとれた生徒の育成を目指す。
-----------	--

山梨県立甲府昭和高等学校校長 荻野 智夫

本年度の重点目標	1 生徒の学びに向かう力を引き出しながら、甲府昭和高校Can-doリストに掲げた資質・能力の育成を図る。
	2 さわやか教育を実践し、自ら考え行動できる生徒の育成を図る。
	3 地域や関係機関と連携して、安全で安心して学べる教育環境の構築に取り組む。

達成度	A ほぼ達成できた。(8割以上)
	B 概ね達成できた。(6割以上)
	C 不十分である。(4割以上)
	D 達成できなかった。(4割以下)

評価	4 良くできている。
	3 できている。
	2 あまりできていない。
	1 できていない。

自 己 評 価			
本年度の重点目標			年度末評価(2月16日現在)
番号	評価項目	具体的方策	方策の評価指標
1	育成する資質・能力に基づいた授業実践	①単元・授業の目標を明確にした授業実践 ②学習を振り返る時間の確保 ③生徒授業アンケートに基づく指導改善	・相互授業参観、生徒授業アンケートにより①②の達成状況を把握
	主体的な学び、深い学びにつながる授業改善	①知識や技能を活用する場面の設定 ②ICT、1人1台端末の活用	・相互授業参観、生徒授業アンケートにより①②の達成状況を把握
	学習評価の充実	①3観点に基づいた適切な学習評価を実施し、生徒の学習改善、教員の指導改善につなげる。	・観点別評価の結果と学習状況を、生徒・保護者に通知
2	基本的生活習慣の確立	①登校時及びホームルームでの基本的生活習慣の指導	・登校時指導週間の設定 ・欠席・遅刻者数の集計
	主体的な行動につなげる取組	①多様性を認め合い、他者を思いやる態度を育成する特別活動の実施 ②情報モラルを含めたモラルアップ・マナーアップの推進	・LHR等クラスごとの活動の設定。 ・学校行事での設定。 ・生指アンケート等による意識調査 ・ネットモラル講演会の実施
3	学校安全に関する指導の充実	①感染症対策の徹底 ②学校安全について、生徒が主体的に考えるような工夫を行う。	・日常の感染対策に加え、生徒・保護者への情報発信 ・交通安全講習、避難訓練、危機管理のHRの実施 ・事故、違反件数の集計
	健康教育の充実	①教育相談の充実 ②働き方についての教員の意識改革の工夫と障がい者雇用の活用	①カウンセリング体制やケース会議の充実 ②勤務時間管理、長時間勤務者に対する面接

学校関係者評価	
実施日(令和5年3月10日)	
評価	意見・要望等
3	・世の中の動きに合わせて教育課程を編成し、授業を行っている。評価方法の変更などは、保護者への情報共有を引き続きしっかり行ってほしい。 ・学習指導に対し、指導者のさらなる研修機会の増加を希望する。コロナ後の活動が始まるが、コロナ以前の内容にとらわれないやり方もある。 ・学習活動はICTの利用により幅が広がったと思うが、ICTのデメリットも振り返りつつ、その都度改善を図っていくことが重要だろう。
3	・交通違反がない、また問題行動の発生件数が少ない点は非常に素晴らしい。一方で5分前遅刻、交通事故の件数増加に課題が残った。新年度、スタート時の対応が重要だ。自転車通学時のヘルメット着用についても、適切に指導してほしい。 ・いじめや多様性の尊重は今日的課題である。生徒一人一人にきめ細かい指導を継続してほしい。 ・「時代に合った生徒指導」と言われるのが困難もあるだろう。トライ&エラーを繰り返しながら継続して指導を行っていただきたい。
3	・コロナ対策は、マスクの緩和、5類への移行など一気に緩和の方向に向かっている。学校としてどのように対応していくのか、方向性を事前に生徒や保護者に示すことが必要だ。 ・教職員やカウンセラーへの相談態勢機能がうまく働いていないとの評価があった。生徒や保護者の相談、カウンセリングへのハードルを低くすることが必要だ。 ・長時間労働教員の数の減少、ストレスチェックの良好結果を高く評価する。教員の良好な労働環境があって、良好な教育環境が実現できると思う。

留意点 (1)重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。
(2)学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。